



市長の姿勢をただす杉浦市議

大阪北部地震や豪雨災害で被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

前代未聞の署名受け取り拒否

今年5月21日、市内36学区にある支所を10か所に削減する市の案に対し取り組まれた反対署名を、越市長は受け取りませんでした。

これは憲法に保障された市民の請願権を否定する行為であり、杉浦市議が市長の認識を質しましたが、市長は市民の権利を侵害した認識はないと開き直りました。市長には間違いを認め謝罪し、自分と異なる意見

と異なる意見

市長! 市民無視はアカンで



杉浦市議が市長の姿勢を批判

6月通常会議が終了しました。党市議団は、効率優先の越市政の問題点を指摘し、公の責任を果たすよう求めました。

こそ真摯に受け止めて、市民とともにまちづくりを進めるといふ謙虚な姿勢が求められます。

また、署名を受け取るのは当然であると副市長などの市幹部が進言すべきでしたが、市長同様に拒否。越体制の全体が市民の権利意識をもたないことを示すものであり、ますます市長の暴走を止める議会の役割が重要となっています。

市民に向き合う市政へ

6月通常会議に提案された、市卸売市場の民営化に向けた開設者の選定や都市公園の整備・運営事業者の選定議案を見ても、市民、関係者や利用者の意見・要望を受け止める姿勢はありません。民営化すれば上手くいくかのようなまやかしかは許されません。

行革を合言葉に、民営化ありきで予算削減ばかりを追い求め、市民への丁寧な説明や意見聴取を軽視し問題を先送りにする市の姿勢が、強い批判を生んでいるのです。

市民に向き合ってこそ市民福祉の向上が果たせます。党市議団は、市民が主役の市政実現へ、引き続きがんばります。

※杉浦市議は他に、国民健康保険、公営駐車場、道徳の教科化について質問しました。

支所機能の削減「丁寧な説明」?!

市長は「丁寧に説明する」と言いましたが、全市民対象の説明会はこの夏に3か所のみ。学区ごとの説明会は学区から要望があれば開くとして、それ以外は自治連合会などとの意見交換で済ませようとしています。すべての市民に関わる問題であり、時間をかけ、きめ細かく説明すべきです。



受け取りを拒否された1万5,384筆の市民の署名

市民の声を聴く議会に、一步前進!

長年の要望実る

今年度議会から、請願者からの申し出があれば、議会はすべての趣旨説明を受けることを決めました。

これは党市議団が要望を続けていたもので、請願を出される市民の声が直接、議員に届けられることとなります。引き続き、市民に身近な議会、市民本位の市政推進のために取り組んでいきます。



（質問紹介）

2018年
6月通常会議

公の責任を果たせと追及

卸売市場に市は責任ある対応を！

林まり 市議



多様な食材を求めにぎわう大津市卸売市場の朝市

公設卸売市場は市民の安全・安心の食を支え、地域経済の活性化や地元農業支援などにも重要な役割を果たしています。市は6月議会に、市場の譲渡先を選ぶ委員会の設置議案を提出。市場関係者との十分な協議もせず、強引に民営化に突き進んでいます。

市は「あり方検討委員会」の提言に従って民営化すると言いますが、委員会が示した「公益性が低下しないこと」や「入場業者と十分に協議調整すること」については考慮されていません。

林市議は、協議がつくされていない証拠に、条例に規定された「市場運営協議会」が2年以上開催されず、昨年9月に委員の任期が切れたままだったことを指摘。民営化ありきでなく、市場関係者と力をあわせた発展的な取り組みを求め、市の姿勢を質しました。

市は

十分な協議をしてきたと強弁し続け、民設民営に進むと言い切りました。

その他の質問項目

公文書管理、障がい者福祉について

公立存続で、保育の質の保障を

岸本のり子 市議

大津市は公立保育園の民営化を進めています。保育園の運営経費の多くは人件費で、保育への企業参入も始まり、収益が求められる民間では、保育士の低賃金、非正規や無資格者の増大が予想されます。

岸本市議は、保育士不足を深刻化させ、質の低下などしわ寄せは子どもたちに及ぶことを指摘。公立存続で公的責任を果たすよう求めました。

市は

民営化することで財源を確保し全体の量と質の向上を図ると、本末転倒な答弁に終始しました。

その他の質問項目

下水道整備と浄化槽補助金について

のびのびと過ごせる児童クラブに

石黒かづ子 市議

児童数の増加に伴い、詰め込み状態にある児童クラブの改善が求められています。特に平野・下阪本は早急な対応が必要です。

児童クラブは子どもたちにとって放課後の生活の場です。保育環境の整備は計画通り進んでおらず、石黒市議はより良い環境づくりへ、ただちに取り組みよう求めました。

市は

民間児童クラブの参入や公共施設の借用などを進めると消極的な答弁でした。

市民に寄りそう生活保護行政に

たてみち秀彦 市議

生活保護制度は憲法に保障された生存権を守るものですが、誤解や行政の姿勢により、資格がある人のうち受給していない人が80%にのぼると推計されています。

たてみち市議は確実に利用できるよう、大津市の「保護のしおり」や相談室の改善、現在1人しかいない女性ケースワーカーの増員など体制の強化を求めました。

市は

「しおり」や相談室の改善には取り組むとしながら、ケースワーカーの増員には消極的な姿勢を示しました。

その他の質問項目

競走馬育成施設、京阪駅前駐輪場について



落ち着いて相談できない相談室。冷房もありません

6月通常会議も

市民・職員おきざりの議案連発!

6月議会には市職員のパソコンを、就業時間が終わればいっせいに閉じるシステムの導入も示されました（初期投資1,500万円）。市職員の仕事は、市民からの相談対応をはじめ、時間がきたからと打ち切れるものばかりではありません。自治体の役割や現場の実態を無視したやり方は、市民サービスの低下にもつながり認められません。

カジノ実施NO!に共産党以外が反対

内容	日本共産党	湖誠会	絆の会	新風	無所属	公明党	市民ネット (元民進系)	志成会	維新の会
	(自民系)								
議案									
	×	○	○	○	○	○	○	×	○
	×	○	○	○	○	○	○	×	○
意見書案	○	×	×	×	×	×	×	×	×

○=賛成、×=反対 (意見書案は他に8件提出されました)

みなさんと
ともに

日本共産党大津市会議員団



杉浦
とも子



石黒
かづ子



岸本
のり子



たてみち
秀彦



林
まり